

ANNUAL REPORT 2025

YUMINO medical

【本部】

〒171-0033 東京都豊島区高田3-14-29 KDX高田馬場ビル2F

TEL 03-5956-8010 FAX 03-5950-0108

【医療】

【東京】

ゆみのハートクリニック高田馬場
〒171-0033
東京都豊島区高田3-14-29
KDX高田馬場ビル1F

ゆみのハートクリニック渋谷
〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町15-3
堀ビル301

ゆみのハートクリニック三鷹
〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3-26-9
サンシロービル4F

ゆみのクリニック渋谷桜丘
[メディカルフィットネスジム「LEX渋谷」併設]
〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町1-4
渋谷サクラステージSHIBUYAサイド5F

【大阪】

のぞみハートクリニック新大阪
〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36
新大阪トラスタワー1F

のぞみハートクリニック天王寺
〒543-0051
大阪府大阪市天王寺区四天王寺1-14-16
伊藤ビル

【愛媛】

ひなたハートクリニック
〒791-1114
愛媛県松山市井門町191-1
MIRAI 2F

【福岡】

わかばハートクリニック
〒810-0073
福岡県福岡市中央区舞鶴3-9-39
福岡舞鶴スクエア1F

【看護】

【東京】

ゆみの訪問看護ステーション落合
〒161-0034
東京都新宿区上落合2-9-16
インテック落合207

ゆみの訪問看護ステーション渋谷
〒151-0066
東京都渋谷区西原3-48-6
クレール代々木上原105

ゆみの訪問看護ステーション早稲田
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田3-12-4
サンハイツ早稲田103

【海外運営支援】 ベトナム

【ハノイ】

Dr.MED Clinic
No. 9 Thanh Nhan Street,
Bach Mai Ward, Hanoi,
Vietnam

【ホーチミン】

DOMED CLINIC
205 Street 9A,
Trung Son Residential Area,
Binh Chanh District,
Ho Chi Minh City 700000,
Vietnam





医を通して、その人らしいLIFEを。

2025年は、法人運営の基盤を強固にする一年となりました。例年のように新たな拠点を設けるのではなく、既存拠点の質と持続性を高めることに注力しました。スタッフ数を大きく増やすことなく、外来・在宅ともに患者数は着実に増加しており、それを支える要員計画の再整備や組織体制の最適化を進めてまいりました。その結果、将来さらなる飛躍をするための基盤が固まりつつあると感じております。また、教育制度の構築にも取り組み、ゆみのハートクリニックは日本在宅医療連合学会認定「在宅医療研修プログラム施設」となりました。日々の診療を支えると同時に、次世代を育成する体制が整いつつあります。

一方、海外においては、日本行政の支援のもと、ベトナムの地域医療を支援する取り組みを開始しました。心疾患領域を中心に、予防医療・在宅医療の質の向上や多職種連携の効率化に取り組み、日本で培ってきた在宅医療モデルを、国境を越えて展開する第一歩となりました。

私たちは「心臓の病気を持つ人々が安心して暮らせる社会になるために」というミッションのもと、「その人らしいLIFE」を支える医療を実践してきました。「心臓病」という専門性を磨き続けてきた歩みが地域からの信頼へとつながり、いまでは疾患を問わず暮らしを支える存在へと進化しています。

変化を楽しみながら未来へ挑戦する——。チームとともに成長し続ける組織として、これからも地域から世界へと価値を届けてまいります。今後ともご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

医療法人社団ゆみの 理事長 弓野 大

理事長プロフィール 弓野 大

順天堂大学医学部卒業。東京女子医科大学病院循環器内科入局、カナダ・トロント大学に留学、心不全患者を主とした臨床・研究を行う。心臓の病気を持つ人々が安心して住み慣れたところで過ごせる社会づくりに貢献するため、2012年「ゆみのハートクリニック」を開院。2026年現在、国内外に運営拠点をもつ。社会活動として、日本循環器協会理事、Japan Cardiology Clinic Network事務局を務めるなど、地域での循環器医療発展のために活動を行っている。



法人理念

その人らしい人生を

わたしたちは、医を通して、その人らしい人生をサポートします

チームとともに

わたしたちは、社会的使命を自覚し、ひとりひとりがチームとともに成長します

未来へむかって

わたしたちは、変化を楽しみながら、未来へむかってチャレンジします

医療法人社団ゆみののは、
地域で外来と在宅での医療を行う
総合内科クリニックを運営しています。

【本部】

医療法人社団ゆみの
〒171-0033
東京都豊島区高田3-14-29 KDX高田馬場ビル2F

【医療】

東京

ゆみのハートクリニック高田馬場
〒171-0033
東京都豊島区高田3-14-29
KDX高田馬場ビル1F

ゆみのハートクリニック渋谷
〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町15-3
堀ビル301

ゆみのハートクリニック三鷹
〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3-26-9
サンシロービル4F

ゆみのクリニック渋谷桜丘
【メディカルフィットネスジム「LEX渋谷」併設】
〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町1-4
渋谷サクラステージ
SHIBUYAサイド5F

大阪

のぞみハートクリニック新大阪
〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36
新大阪トラストタワー1F

のぞみハートクリニック天王寺
〒543-0051
大阪府大阪市天王寺区
四天王寺1-14-16
伊藤ビル

愛媛

ひなたハートクリニック
〒791-1114
愛媛県松山市井門町191-1
MIRAI 2F

福岡

わかばハートクリニック
〒810-0073
福岡県福岡市中央区舞鶴3-9-39
福岡舞鶴スクエア1F

- 外来診療
- 訪問診療
- 訪問看護
- 訪問リハビリテーション
- 海外運営支援



【看護】

東京

ゆみの訪問看護ステーション
落合
〒161-0034
東京都新宿区上落合2-9-16
インテック落合207

ゆみの訪問看護ステーション
渋谷
〒151-0066
東京都渋谷区西原3-48-6
クレール代々木上原105

ゆみの訪問看護ステーション
早稲田
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田3-12-4
サンハイツ早稲田103

ベトナム



【海外運営支援】ベトナム

ハノイ

Dr.MED Clinic
No. 9 Thanh Nhan Street,
Bach Mai Ward, Hanoi,
Vietnam

ホーチミン

DOMED CLINIC
205 Street 9A, Trung Son Residential Area,
Binh Chanh District, Ho Chi Minh City 700000,
Vietnam

Grand
Design
of
YUMINO

2030年、 手術以外の入院が ゼロになる社会へ

アナログとデジタルを融合し、
必要な人に必要な、信頼される医療を

予防事業に取り組む

- アナログとデジタルの融合による予防医療を展開する
- 地域住民、ワーカー、海外の人々の健康をサポートする
- オーダーメイドなセルフケアを支援する



外来受診頻度の適正化を進める

- オンライン診療を充実させ、患者さんの健康を支える
- 安定している患者さんの外来受診頻度を適正化し、より多くの患者さんを診る
- PHRや遠隔モニタリングの有効活用をする



在宅医療体制の充実をはかる

- 管制塔センターでの広範囲に及ぶ在宅管理を行う
- 訪問看護事業を拡大する
- テレナーシングと併用し、在宅診療頻度を減らす

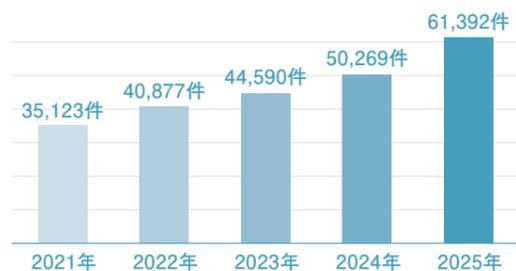


外来診療

外来のかかりつけ患者さんにも安心してお過ごしいただけるよう、24時間365日対応しています。



総外来件数
61,392件



オンライン診療件数

618件 [2023年：479件 / 2024年：581件]



CPAP管理台数

1,484台

[2023年：1,416台 / 2024年：1,292台]



終夜睡眠ポリグラフ検査 (PSG) 件数

270件

※検査室数：3室 (ゆみのハートクリニック)
[2023年：240件 / 2024年：217件]



企業への出張インフルエンザワクチン予防接種実施社数

142社 (8,558名)

[2023年：137社 (7,280名) / 2024年：148社 (8,560名)]



内視鏡検査件数

1,547件

※ゆみのクリニック波谷様丘で実施

■胃カメラ：1,015件 ■大腸カメラ：532件

訪問診療

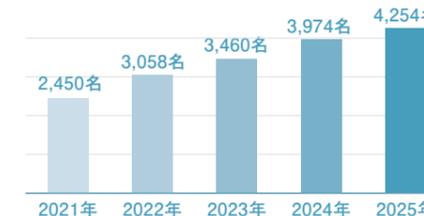
管制塔センターなどICTの活用により、2025年の訪問診療利用者数は4,000人を超えました。



在宅管理患者数 ※2025年12月現在

4,254名

■ 居宅 80.1% ■ 施設 19.9%



訪問診療件数

57,351件

[2023年：40,285件 / 2024年：42,641件]



往診数 (緊急・夜間を含む)

5,380件

[2023年：6,184件 / 2024年：5,352件]



補助人工心臓取り扱い件数

12件

[2023年：10件 / 2024年：9件]



在宅心エコー図検査実施件数

236件

[2023年：467件 / 2024年：484件]

再入院率

3.8% [2023年：4.4% / 2024年：4.4%]

※全入院数÷各月初めの患者管理数の和

看取り数

479件 [2023年：479件 / 2024年：438件]

訪問看護

患者さんやご家族に寄り添った、あたたかい訪問看護の提供を心がけています。



訪問件数

13,703件



訪問看護利用者数

248名

[2023年：119名 / 2024年：244名]



オンコール対応件数

226件

[2023年：420件 / 2024年：194件]

訪問リハビリテーション

乳児から高齢者まで、症状や生活背景に応じたリハビリを提供しています。



訪問リハビリテーション件数

31,223件

■ 理学療法：25,434件 ■ 作業療法：3,094件 ■ 言語聴覚療法：2,695件

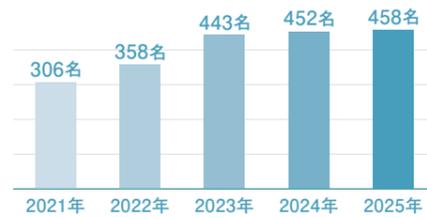


スタッフ体制

多職種が連携し、地域に根差した医療を提供するとともに、福利厚生などを通じて職員のキャリアとライフを支援。



スタッフ総数 ※2025年12月時点 非常勤を含む
458名



医師 ※常勤・非常勤
123名
[2023年：96名 / 2024年：115名]



看護師 ※常勤・非常勤
84名
[2023年：78名 / 2024年：82名]



専門科目 **33科目**
[2023年：28科目 / 2024年：33科目]

在宅医療 / 総合内科 / 精神科 / 外科 / リハビリテーション科 / 消化器内科 / 循環器 / 呼吸器 / 神経内科 / アレルギー / 肝臓内科 / 糖尿病内科 / 心臓血管外科 / 皮膚科 / 高血圧 / 睡眠 / 脳卒中 / 認知症 / がん薬物療法 など



慢性心不全
看護認定看護師 **9名**
[2023年：9名 / 2024年：8名]



診療看護師 **1名**
[2023年：3名 / 2024年：3名]

リハビリテーション **43名** [2023年：42名 / 2024年：43名]
[理学療法士 / 作業療法士 / 言語聴覚士]

臨床検査技師 **19名** [2023年：29名 / 2024年：18名]

医療ソーシャルワーカー **20名** [2023年：22名 / 2024年：23名]

医療事務 [外来 / 訪問] **57名** [2023年：54名 / 2024年：54名]

訪問診療コーディネーター **49名** [2023年：52名 / 2024年：51名]

訪問診療ドライバー **17名** [2023年：13名 / 2024年：15名]

管理栄養士 **7名** [2023年：6名 / 2024年：6名]

本部およびその他 **46名** [2023年：40名 / 2024年：45名]

心不全療養指導士 資格所有者 **34名** [2023年：31名 / 2024年：33名]

育休取得者 **12名**

時短勤務者 **17名**

管理職男女比
男性 **6:4** 女性

学会活動ほか

地域医療にも貢献できるよう、私たちの臨床における経験や知見を広く発信する活動を行っています。



学会発表数

59回

[2023年：77回 / 2024年：70回]

主な学会登壇履歴

- 日本循環器学会
- 日本心不全学会
- 日本心臓病学会
- 日本心臓リハビリテーション学会
- 日本人工臓器学会
- 日本在宅医療連合学会
- 日本循環器看護学会
- 日本睡眠学会
- 日本循環器理学療法学会
- 日本小児理学療法学会
- 日本言語聴覚学会



メディア

- フジテレビ
- 読売新聞オンライン
- 日経メディカル
- など

患者さん満足度（訪問診療）

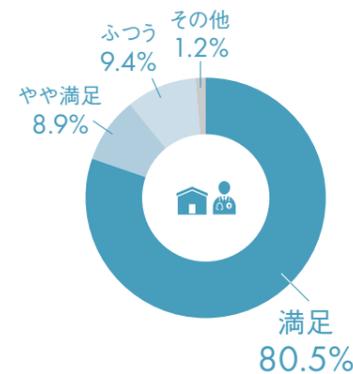
訪問診療をご利用いただいている患者さんやご家族を対象に、日々の診療についての満足度調査を実施しました。寄せられた声を通じて、私たちが患者さんとのように向き合っているかを振り返り、今後の診療に生かしています。

総合満足度（平均）

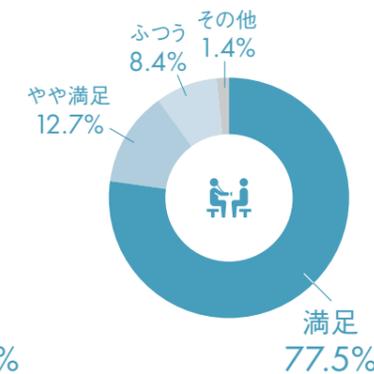


患者さん・ご家族への満足度調査
(訪問診療実施の6拠点集計)
※回答数1,083件、2025年3月~4月実施

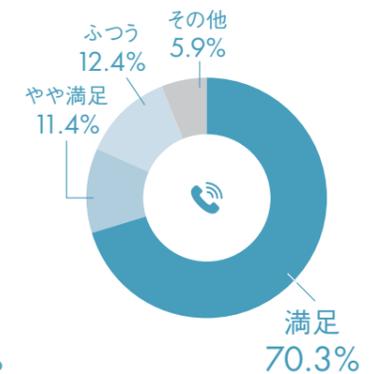
訪問スタッフ対応満足度



診療内容満足度



電話対応満足度



[満足度調査結果のご報告と今後の取り組み]

患者さんやご家族からいただく声を真摯に受け止め、医療の質と安全性の向上に努めてまいります。あわせて、多職種および他医療機関との連携を大切にしながら、全拠点でのサービス向上を継続してまいります。

■ 高評価をいただいた点

- ・ 24時間365日対応による安心感
- ・ 多職種連携による包括的かつ切れ目のない体制
- ・ 丁寧な診察と、患者さん、ご家族双方に寄り添う姿勢

■ 課題

- ・ 訪問時間に関する事前連絡のあり方
- ・ 担当医・スタッフ変更時の安心感向上
- ・ スタッフ対応の質の均一化

■ 今後の取り組み

- ・ 訪問予定連絡体制の見直しとICT活用の検討
- ・ 円滑な引継ぎ体制の整備と説明の徹底
- ・ 接遇の強化およびスタッフ研修の充実

CASE 1

カテコラミンを含む4剤を 持続点滴投与下で、いきつけの美容院へ。 安心して外出できるよう多職種連携でサポート

疾患名	ご希望	同居家族
遺伝性肺動脈性肺高血圧症、 慢性右心不全、低血圧	いきつけの美容室で ヘアカットとカラーがしたい	夫と2人暮らし
当法人のサポート(体制)		
訪問診療、ゆみの管制塔センターによるテレナーシング、訪問リハビリ(理学療法士によるストレッチ、低負荷筋力練習、ADL動作指導、活動調整、歩行練習、自宅環境整備)、ソーシャルワーカー(入退院支援、在宅療養支援、病院受診などの外出調整)		

退院までの経過

遺伝性肺動脈性肺高血圧症に対して外来通院・治療をしていましたが、状態増悪により入院となりました。循環動態が不安定であり、入院中はトレプロスチニル、ドパミン、ノルアドレナリン、フロセミドの4剤を持続点滴投与していましたが、いずれの薬剤も離脱が難しい状態でした。入院期間が数か月となり、ご本人は自宅に帰って過ごしたいという希望があり、病院と在宅療養をサポートする事業所との多職種カンファレンスを重ねて、持続点滴投与を継続した状態で在宅療養へ移行しました。

美容院外出に向けた具体的な支援内容

安心して美容院へ外出できるよう、院内のスタッフで話し合いを重ね、地域と一緒にサポートする事業所にも協力を仰いで準備を進めました。具体的には、点滴や酸素を繋いだ状態で美容院を利用するため、本人だけでなく美容師も不安なく施術できるよう、事前にソーシャルワーカーから美容院へ丁寧に説明し、調整を進めました。また、事前に理学療法士が美容院を訪問し、建物周辺の環境、店内までの段差の有無や動線、店内の環境などを確認し、点滴ポンプや酸素を使用した状態で車椅子移動が可能か評価を行いました。外出当日は、訪問看護師が出発前の準備をして、出発前・帰宅後の状態観察を実施。そして自宅と美容院の移動は、介護タクシーのスタッフ、医師、看護師が同行し、美容院での施術中は、看護師が付き添い、状態の観察・評価、点滴や酸素の管理などを行いました。多職種で協力し、しっかり準備をしたことで、循環動態の変化なく、美容院でのヘアカットとカラーをすることができました。



[担当スタッフより]



退院前のカンファレンスの際に、「何か月も入院していたので、美容院に行って髪を整えたい!」という目標を話していたのが印象に残っていました。退院後は、外出のタイミングを逃さないよう、日々の体調を多職種間でこまめに情報共有し、同時に外出に向けて協力して準備を進めていきました。

美容院での施術を終えて、「病院では色々制限があったけれど、こうやって点滴を繋いだ状態でも訪問診療でサポートしてくれて、お願いして良かったです。本当にありがとうございます。」とお言葉をいただき、とても嬉しく、胸が熱くなりました。

CASE 2

最期まで住み慣れた自宅で過ごしたい。 ご本人の意思を尊重しながら、 外来から在宅、そして独居での自宅看取り

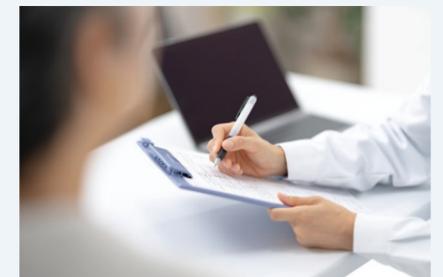
疾患名	ご希望	同居家族
脊柱管狭窄、消化管出血、 舌癌術後	最期まで住み慣れた自宅で 過ごしたい	一人暮らし (ヘルパー週2回利用)
当法人のサポート(体制)		
訪問診療、ゆみの管制塔センターによるテレナーシング、訪問看護、訪問リハビリ(理学療法士によるストレッチ、関節可動域練習、ADL動作指導、自宅環境整備、自主トレーニング指導など)、ソーシャルワーカー(在宅療養支援)		

在宅療養に至るまでの経過

ゆみのハートクリニック開院当初より、ご主人とともに外来通院されてきました。ご主人も当法人の在宅医療をご利用され、ご自宅でお看取りをさせていただいています。そうした歩みのなかで、外来通院中よりACP(アドバンス・ケア・プランニング)を重ね、「最期まで自宅で過ごしたい」というご本人の意思は一貫して示されていました。ある日、吐血を認め、消化管出血のため、当法人のゆみのクリニック渋谷桜丘にて緊急消化管内視鏡検査を施行し、内視鏡的止血術を実施しました。ご本人の意思を踏まえ入院はせず、外来での輸血対応を行い、全身状態の安定を確認したうえで在宅療養へ移行しました。

在宅療養でのサポート

独居での在宅療養であったため、体調変化への早期対応と、家族および医療者間の確実な情報共有体制の構築が求められました。特に老衰期においては、本人の意思を尊重しながら、医療と生活支援をどのように両立させるかが重要な課題となりました。在宅療養中は、MCSを活用し、家族および多職種間でリアルタイムに情報を共有。状態変化や意思決定の内容を速やかに確認できる体制を整備しました。あわせて、「眠りスキャン」などの遠隔モニタリング機器も導入しながら、ゆみの管制塔センター(テレナーシング)による見守りを実施しました。また、主治医不在時にも対応可能なDr.オンコール体制を整え、24時間の医療的バックアップを確保。さらに、ゆみの訪問看護を導入し、日常的な状態観察と老衰期に応じたケアを継続的に提供しました。こうした当法人内外の連携体制によって、独居であっても安心して在宅療養を継続し、本人が長年抱いていた「最期まで自宅で過ごす」という希望を叶えることができました。



*ベッドに設置した非接触センサーで、睡眠・呼吸・体動の変化を把握し、在宅療養中の状態を遠隔で見守るモニタリングシステム

[担当スタッフより]



ゆみのハートクリニック開院から10年以上が経ち、法人としても少しずつ体制を拡充していくなかで、本患者さんは長年にわたり当法人の外来・在宅医療を受けていただいた方でした。病状の変化に応じて治療や療養の場をともに検討しながら、その都度、ご本人の意思を確認しつつ支援を

重ねてきました。最期は、以前から強く希望されていたご自宅で、穏やかにその時を迎えられました。長年にわたり関わらせていただいた私たちにとっても、ご本人の意思を尊重しながら最終段階までサポートできたことは、在宅医療の意義をあらためて実感する出来事となりました。

当法人は創立13周年を迎えました。

2012
ゆみのハートクリニック 開院



9月25日、東京・高田馬場に開院。この地は弓野理事長の地元新宿や、それまで働いていた東京女子医科大学病院の近隣であることから決まりました。

2014
医療法人社団ゆみの設立



医を通して、より大きな社会貢献を実践するために、法人を設立しました。

2018
のぞみハートクリニック 開院



岡田院長の地元である大阪の中心地・新大阪駅前に開院。「のぞみ」という名前は、鉄道好きの院長によって新幹線の列車名からつけられました。

2019
ゆみのハートクリニック渋谷 開院



3つ目のクリニックを東京・渋谷に開院。その後、外来機能は2024年に新設された「ゆみのクリニック渋谷桜丘」へ移し、現在は訪問診療のみ行っています。

2020
ゆみの訪問看護ステーション 開設



「ゆみのハートクリニック」の近隣である新宿・上落合に開設。これまで蓄積してきた地域のホームドクターとしての知見を生かし、他の医療専門職と連携しながら、一人ひとりに寄り添う訪問看護を展開しています。

2021
ゆみのハートクリニック三鷹 開院



西東京の広範囲を担う鈴木院長は、弓野理事長と医師1年目からの同期。多くの重症心不全患者の訪問診療を行っています。

2021
ゆみの在宅医療・管制塔センター 設立



当院のかかりつけ患者さんに対して24時間365日体制で遠隔看護を行っています。

2022
わかばハートクリニック 開院



福岡に開院。「わかば」という名前には、「福岡の地に新しい地域の医療の形を根付かせ、いつまでも初心を忘れずに歩み続ける」という武居院長の想いが込められています。

2023
のぞみハートクリニック天王寺 開院



大阪市内の2拠点目として天王寺に開院。小出院長の地元大阪市を中心に広範囲なエリアへの訪問診療を行っています。

2023
ゆみのクリニック渋谷桜丘 開院



渋谷駅直結の高層複合施設「渋谷サクラステージ」5Fに開院。内視鏡センターとメディカルフィットネスジム「LEX渋谷」を備え、予防も重視した総合内科の診療を行っています。

2024
ゆみの訪問看護ステーション
渋谷サテライト 開設



訪問看護ステーションの新たな拠点として渋谷区代々木上原に開設しました。

2024
ゆみのハートクリニック三鷹 外来開院



三鷹の地でより幅広い疾患に対応する地域のホームドクターを目指し、それまで行ってきた訪問診療に加え、三鷹駅前でも外来診療を開始しました。

2025年の取り組みをご紹介します。

YUMINO在宅医療の仕組みを世界へ ベトナムで予防医療と 在宅管理・多職種連携支援を開始

経済産業省の令和7年度ヘルスケア産業国際展開推進事業*にて、当法人が提案した「ベトナムにおける心疾患領域の予防医療と在宅管理・多職種連携実証調査プロジェクト」が採択されました。ベトナムの死因第1位は心疾患となっており、その比率はASEAN周辺諸国よりも高くなっています。食生活の変化などにより生活習慣病患者数も増加しており、ベトナムでは心疾患対策が急務な状況となっています。特に心疾患患者さんは退院後の予後管理が極めて重要な一方で、日本で行われているようなフォローアップが、ベトナムでは十分に行われていないケースもあります。

心疾患に対する医療需要の増加に対して医療サービス提供量も十分とは言えず、予防医療や地域医療体制の整備も遅れているのが現状です。このような背景から、当法人が築いてきた看護師を中心としたチームがご自宅で療養される患者さんを遠隔でサポートするクラウド型ナースステーション「管制塔センター」や在宅で測定された患者さんの健康情報が自動で医療チームと共有される「eHomeCare」などの医療DXの活用が、現地支援において効果的な取り組みになる可能性があり、本実証調査を開始する運びとなりました。



現在はホーチミン市とハノイ市の2つのクリニックと協力し、患者さんの見守り体制の整備や、地域の医療者が連携しやすい仕組みの導入支援を進めています。これまでに私たちが培ってきた「予防医療から在宅医療までのノウハウ」を生かし、ベトナムの人々が安心して暮らせる社会となるよう貢献してまいります。

*日本が高い競争力を有する医療や介護などのヘルスケアに関して、技術およびサービス、製品の強みを生かした戦略的な海外展開を計画・実施する医療機関や企業などの事業者の基礎調査および実証調査の費用を補助することで、国内のヘルスケア製品・サービスの海外展開を促進させることを目的としています。

■ 管制塔センター (YUMINOモデル) とは

病院以外のご自宅などで療養されている患者さんを、看護師を中心とした医療チームが遠隔で24時間365日サポート。体調を管理するモニタリングを行い、急変時には医師の緊急往診など迅速に対応できる体制を整えています。また、地域の訪問看護師、ケアマネジャー、薬剤師などとの連携を行い、地域医療をつなぐ要としての役割も担います。

管制塔センター
紹介動画



管制塔センター (YUMINOモデル) がもたらすメリット

クラウド型のため、スタッフのリモート対応が可能

心疾患に特化した高度なトリアージ機能による再入院リスクの低減に寄与

リアルタイムでの情報共有・解析により、緊急時の即時対応をサポート

2025 TOPICS

次世代の在宅医療を支える人材育成拠点として ゆみのハートクリニックが 日本在宅医療連合学会認定 「在宅医療研修プログラム施設」に



ゆみのハートクリニックが、日本在宅医療連合学会より「在宅医療研修プログラム施設」として認定されました。本認定により、研修プログラム修了者は在宅医療専門医試験の受験資格を取得することが可能となり、当法人がこれまで培ってきた在宅診療の経験と知見を、次世代の医師育成へと生かす体制が

整いました。これから在宅診療を実践しようとする医師が当法人で学び、心不全診療の輪や私たちの理念が全国へと広がっていくことを目指し、本研修プログラムを通じた教育体制の充実をはかってまいります。

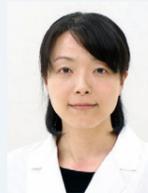
ゆみのハートクリニックの「心不全を診る在宅専門医プログラム」

ゆみのハートクリニックでは、年間2,000例以上の総合的な在宅医療患者さんのサポートを行っています。在宅医療専門医として必要な、がん、認知症、神経難病など、さまざまな疾患を抱える患者さんの診療においても、緩和治療医、精神科医、神経内科医・皮膚科医などへ随時コンサルトが可能な体制を有し、学びながら、患者さんの在宅療養を支援することができます。また、重症心不全患者さんの在宅管理は、全国でも最も多くの症例を扱う機関でもあり、心不全患者さんの医学的な管理に加え、在宅での心臓リハビリテーションの実践、緩和ケアを学び、その人らしいLIFEに寄り添う最適な治療・ケアを提案できる医師を目指します。

【研修期間】2年 【受け入れ人数】2名

【指導医】
吉本 明子

ゆみのハートクリニック 副院長
琉球大学医学部卒業。2012年より在宅医療に従事し、2019年4月、当法人に入職。循環器内科専門医、総合内科専門医、リハビリテーション科専門医、在宅医療専門医・指導医。



心臓の病気を持つ人々が 安心して暮らせる社会になるために

日々の臨床研究の内容や事業内容など、当法人の取り組みについては公式サイトをご覧ください。
採用に関する情報は、採用サイトにてご案内しています。

日々の実践が一つの形に 一般財団法人古川医療 福祉設備振興財団より顕彰



当法人の重症心不全の在宅管理における先駆的な取り組みが高く評価され、「第12回 古川医療福祉設備振興財団 顕彰表彰式・研究助成金贈呈式」において顕彰を受けました。顕彰内容は以下の通りです。
「重症心不全患者、植え込み型補助人工心臓治療は長期的補助・在宅管理が必須であるが、当初は重症心不全の在宅管理施設がなかったところ、本法人の弓野医師は、人工心臓の在宅管理を引き受ける我が国初のクリニックを東京都内で2012年に開設された。その後、このハートクリニック体制を

東京外にも進めるとともに、人工心臓患者のみならず、在宅での強心薬持続注射も可能とするなど、心不全の在宅管理の新しい道を切り拓いた功績は大きく、当財団の顕彰規定に沿うものである。」
今後も重症心不全患者さんお一人おひとりの生活に寄り添った在宅医療の充実と質の向上に努めるとともに、心不全医療の新たな可能性を切り拓く取り組みを継続してまいります。



公式サイト



採用サイト

